

福島第二原子力発電所 3, 4号機放水口付近の海面への油漏えいについて（続報）

平成 23 年 6 月 9 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

平成 23 年 6 月 8 日、高起動変圧器*¹の防災用地下タンク*²点検のため、同タンク内に貯留していた水の排水作業を行っていたところ、午後 6 時 10 分頃、3, 4 号機放水口付近の海面に油が漏えいしていることを当社社員が確認しました。

現在、排水作業を停止しております。また、油吸着シートにより拡散防止をはかるとともに、オイルフェンスの設置を準備しております。

漏えいしている油の量や流出状況について、詳細調査中です。

（平成 23 年 6 月 8 日お知らせ済み）

6 月 8 日午後 9 時 50 分、オイルフェンスを設置しました。また、漏えいの範囲は、海面上ごく薄い油膜がオイルフェンスの内側に滞まっていることを確認しました。

本年 3 月 11 日の地震の影響により、高起動変圧器内の絶縁油が漏れて防災用地下タンクに流入しました。その後、6 月 8 日、同タンクの点検のためタンク内に貯まった水の排水作業を実施していたところ、絶縁油の混入した水（約 32m³）が海面に漏えいしたことを確認しました。そのうち、絶縁油は最大約 0.5m³と推定しています。

引き続き、拡散防止用の油吸着シートの順次投入ならびに回収を継続します。また、絶縁油が混入した水が海面の漏えいに至った原因について詳細に調査します。

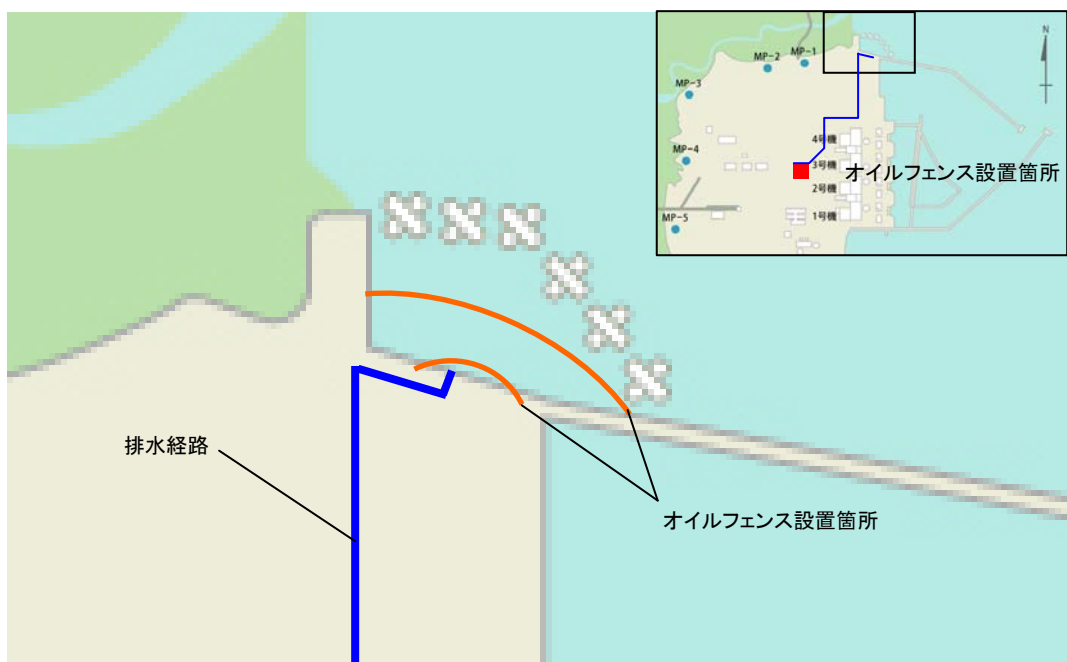
以 上

* 1 高起動変圧器

プラントの起動および停止時に外部電源を所内に供給するための変圧器。

* 2 防災用地下タンク

高起動変圧器から絶縁油が漏れた場合に油受けの役目を果たすタンク。



3, 4号機放水口付近 オイルフェンス設置状況